

統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室企画指導第三係長

大八木 聡
OYAGI SATOSHI

平成 19年 10月 総務省採用
統計局統計調査部経済基本構造統計課指導係
平成 21年 10月 大臣官房政策評価広報課広報室報道係
平成 23年 10月 統計局統計調査部消費統計課物価統計室小売物価調査係
平成 24年 4月 統計局統計調査部消費統計課物価統計室企画指導第一係
平成 26年 1月 統計局統計調査部国勢統計課審査発表係
平成 26年 7月 統計局統計調査部国勢統計課指導係
平成 26年 10月 統計局統計調査部国勢統計課統計専門職
(指導に関する業務)
平成 28年 4月 統計局統計調査部国勢統計課統計専門職
(住宅・土地調査第一に関する業務)
平成 29年 4月 統計局統計調査部国勢統計課住宅・土地調査第二係長
平成 31年 4月 現 職



統計の仕事は面白い！

睡眠時間が最も長いのはどこの県！？

皆さんは「社会生活基本調査」をご存じですか？総務省が5年に一度実施する統計調査で、直近では平成28年に実施されました。現在、私はこの調査の担当係長として、令和3年の調査に向けて、日々、調査票の見直しや調査方法の効率化を検討しています。

「社会生活基本調査」は、簡単に言うと「人々の生活時間の使い方」を調べる統計調査です。例えば、平成28年の公表結果で、都道府県別の1日あたりの睡眠時間(平均値)を比較すると、全国で最も長いのは「秋田県」の8時間2分(全国平均7時間40分)、最も短いのは「埼玉県」の7時間31分でした。私は埼玉県民ですので、休日はもう少し長く寝てもいいのでは！？なんて思いました笑

その他にも、私たちの生活に密着した様々な結果を公表しています。最近よく耳にする働き方改革の関係でいえば、「男性の家事・育児時間」についても。興味のある方は統計局のホームページを覗いてみてくださいね。

多くの出会いから得られるもの

統計調査を実施する上で、実際に現地で調査事務を遂行していただく統計調査員の方々を始め、市町村や都道府県の担当者との連携は必須です。調査の実施に向けて、日本各地に足を運び、多くの方と出会い、時には会議室で激しく意見を交わし、時には居酒屋でプライベートな話をつまみにお酒を交わします。そうしていくうちに互いの信頼は深まり、気持ちが一つになることで、私は今まで幾度となく、調査の成功を経験させていただきました。

大きな調査を経験する度に、統計調査に関する経験値やスキルを向上させることができることは当然ですが、なによりも様々な地域性を感じる機会があり、また、多くの方々との出会いから、人としての協調性や考え方の柔軟性を高めることができました。

皆さんも、総務省統計局で新たな自分を発見して、スキルアップしてみませんか？

Q 統計局を志望した理由は何ですか？

A 「統計は縁の下の力持ち」。統計データなくして、各行政機関が様々な施策を講ずることはできません。統計データ自体が目立つわけではありませんが、なくてはならない重要な存在、そんな陰の立役者のような統計データを作成する統計局に惹かれました。

Q これまで携わった仕事で達成感があつた仕事は何ですか？

A 平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震により、当時担当していた「平成30年住宅・土地統計調査」の実施が、一部の地域で調査困難となりました。その際、関係する県の担当者や議論の限りを尽くし、災害対応に追われる市町村の担当者や、被害のあった地域にお住まいの方々のご理解の下、1か月程度調査を延期することで、予定どおりの結果公表に至ることができました。もちろん達成感もありましたが、改めて統計とは、国民一人一人のご理解とご協力の下に、築き上げていくものであることを実感し、その業務に携わる者として、身の引き締まる経験をさせていただきました。

Private Time

2人の娘と出かけたり散歩するのが大好きです。3歳の娘は、目を離すとすぐにどこかに飛んで行ってしまいますので、若干ハラハラしながらも完全に癒やされています。空いた時間はジムに通ってリフレッシュ！とても気分転換になっています。(でもまったく痩せないのです。まさにミステリー……)

